静岡県連盟安全委員会

ヒヤリハット体験

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **タイトル** | 急勾配の崖を下りるとき、転落（右手首を打撲） | | |
| **部門** | | **活動内容** | |
|  | | **団合同の隊集会** | |
| **発生日** | | **発生時間** | **発生場所** |
| 12月29日 | |  | 団野営場 |
| **ヒヤリハット体験の概要** | | | |
| ・ビーバー、カブ隊は門松つくり  　・ボーイ隊は、竹を使った正月飾りを恒例で作っている  正月飾り用に、枝ぶりの良い松のある場所を知っている指導者が、その場所に  　　向かった。  　　　急勾配の崖の途中に（高さ3ⅿ）良い枝を張り出している松があり、指導者  　　は、剪定ハサミを手に持ち草のかぶに足をかけ松の木まで崖を登った。  　　　枝ぶりの良い枝を剪定し、崖の下に落とし、作業が終わり、身体の前面を崖側  　　に向けたため、向きを変えようと草かぶに足をかけたとき、バランスをくずし、  　　３ｍ下まで転がり落ちた。  　　　剪定バサミを右手親指にかけた状態で転がり落ちたが、手首・親指の打撲  だけで事なきを得た。  【追記】  ・恒例行事で、指導者は周辺のどこに何があるかよく知っていた。  ・毎年、指導者は一人で松の剪定に行き、隊集会に間に合わせていた。  ・落ちた年は、場所を団委員に教えるため、数人で行った。  ・崖を登ったのは、落ちた指導者一人だった。 | | | |
| 備考欄 | | | |